

ホームルーム活動（人権）学習指導案

1 単元名 もしもの時にそなえよう

2 単元設定の理由(省略)

3 単元の目標

- (1) 事例や意見交換を通して、地震の際に身を守るための具体的な知識を得ることができる。
- (2) 地震に備え、日頃から用意すべきものや周囲と共通理解しておくべきこと知ることができる。
- (3) 自分用の非常持ち出し袋に入れる用品を、選択肢から選んだり決めたりすることができる。
- (4) 地震発生時に想定される自分の困り感とそれに応じた対処法を考えることができる。
- (5) 周囲に支援や理解を求めるためのサポートカードを作ることができる。
- (6) 友達と相談や意見交換をしながら、地震防災について考えることができる。

4 指導計画

- (1) 地震災害について知ろう…………… 1時間
- (2) もしも地震が起きたら…………… 2時間
- (3) 地震に備えてできること…………… 5時間（本時2／5）

5 本時

(1) 個人目標(省略)

(2) 普遍的な学習のテーマ 生命の尊さ 自己選択 自己決定

(3) 展開

学習活動	支援上の留意点	評価
1 始まりのあいさつをする。 2 学習内容を知る。 3 前時に学んだ内容を振り返る。 ①非常持ち出し袋の推奨用品とその用途 ②障がい者の困り感の事例に挙げられた用品とその用途 4 一般的に必要とされる非常持ち出し袋の用品を、班ごとに決める。	<ul style="list-style-type: none"> ・班分けを黒板に提示し、座席の移動を促す。 ・当番が全員の様子を見ながら言葉掛けをしているかを確認する。 ・T1が本時の簡単な学習の流れを黒板左端に提示し、説明を加える。 ・T1がプレゼンテーション画面を元に進めていく。 ・T2は机間巡視し、必要な班に小声でヒントを出す。 ・プレゼンテーションの画面には写真やイラストを用いて視覚的に想像しやすくする。 ・端的にまとめ、情報量が多すぎないようにする。 ・T1がA3大のホワイトボードを配布し、記入後に、そのまま黒板に貼り出すことを伝えておく。 ・T2がプレゼンテーションで挙げた用品のイラストを、参考資料として配布する。 ・話し合いが行き詰まったり、班員の意見交換が少なかったりする場合には、教師が話題提供や意見を引き出す言葉掛けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・号令に合わせて姿勢を正して挨拶ができています。 ・学習内容に注目できている。 ・前時の学習を思い出し、各班5つ以上の用品を挙げるができています。 ・班員で相談して考えるができています。 ・個に応じて困り感が違うことを思い出すができています。 ・友達と相談しながら用品を決めるができています。(A B D E F G I) ・用品を、班の友達と選択肢から交互に選ぶができています。(C H)

<p>5 班ごとに決めた用品を発表し、全体のまとめをワークシートに書き込む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記入済みのホワイトボードを、全班が黒板に貼付し、発表者が読み上げるようにする。 ・発表者を決める際は、班内で役割が分散するように事前に話しておく。 ・T 1 は発表時の立ち位置などを示し、T 2 は役割分担の状況を確認する。 ・各班の発表が終わるごとに拍手で賞賛し、他班による感想や質問を募る。 ・教員は全班の発表終了後に発表への賞賛と感想を述べる。 ・T 1 がカードなどでまとめを行い、T 2 が黒板の内容に沿ったワークシートを配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごと決めた用品を、発表者を中心に班の生徒で協力しながら、他班に伝えることができている。 ・他班の発表を静かに聞くことができている。 ・他班に対して質問があれば、行うことができている。
<p>6 自分用の非常持ち出し袋の用品を追加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい漢字は抜き出して拡大して書く。 ・個人情報のため班を解体し、個別の席に戻して取り組み、発表は控えることを伝える。 ・個人的に必要なものをワークシートの指定枠に書き足したり、選択肢から選んで書き写したりする。 ・机間巡視し、思いついていない生徒には、プレゼンテーションの画面を再提示したり、写真やイラストなどの参考資料を見せたりし、困り感を想像しやすくする。 ・必要に応じて教師の考える案を示したり、生徒の考えに同意したりする。 ・持ち出し用品を友達と主体的に考えることができたことを賞賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の困り感や不安に応じた持ち出し品を考えることができている。 (A B D E F G I) ・自分の困り感に応じた持ち出し品を選択肢から選び、書き写すことができている。(C H) ・わからない場合に、教員に援助要求をすることができる。
<p>7 本時のまとめをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え決定していくこと、自分自身をよく理解しておくことが常日頃から大切であることに気付くように配慮する。 ・次回はサポートカードを作成することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員に注目することができる。
<p>8 次時の予告を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当番が全員の様子を見ながら声を掛けているかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の予告を静かに聞くことができている。
<p>9 終わりのあいさつをする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・号令に合わせて、あいさつすることができる。